

平成27年1月報告用

北関東甲信越ブロック

新潟大学
口腔外科
高木 律男

平成26年度事業(中間報告)

1 HIV歯科医療情報ネットワークの構築

- ① 歯科医師会のHPへの情報提供: 歯科医師会のHPに掲載
- ② HIV歯科医療担当者ネットワーク構築: 病院歯科ネットワーク
- ③ 歯科医療関係者対象の講演会の開催(11月30日(日))
- ④ パンフレットの改訂と更新・再発送: 内容を更新して再発送
- ⑤ HPの拡充: 内容更新 (今年度の事業を追加、等)

2 研究活動

- ① 基礎研究: 慶應大学(担当者: 加藤真悟)との共同研究
 - ・唾液によるHIVの感染性について(担当者: 村山、永井)
 - ・唾液中の薬剤濃度(ART療法患者)による病態把握(担当者: 山田)
 - ・著書: 高木律男、山田瑛子、加藤真悟: 非侵襲的検体検査の最前線・第二章唾液・第4章の4.HIV唾液検査の評価。株シーエムシー出版(本年出版)
- ② 臨床研究
 - ・論文投稿: 永井孝宏、児玉泰光、黒川亮、山田瑛子、村山正晃、池野良、田邊嘉也、高木律男: 新潟大学医歯学総合病院歯科におけるHIV感染症患者の臨床的検討。日本エイズ学会誌 16(3): 148-154, 2014.

講演会報告

- ・ 期日: 平成26年11月30日(日)
- ・ 時間: 9時～12時(8時半開場)
- ・ 開催場所: 新潟大学医歯学総合病院 病棟12階 大会議室
- ・ タイトル: **歯科医療従事者のための「知っておきたいHIV感染症の現状と対応」**
- ・ 主催者(後援など): 主催・新潟大学、共催・新潟歯学会、後援・新潟県 cf. 日本歯科医師会生涯研修登録事業
- ・ 当日配布資料: 各講師ハンドアウト、パンフレット、永井論文、HIV感染症歯科診療ネットワーク取組事例集(改訂版)(秋野先生より)、アンケート

講師

- ① 田邊嘉也 先生
(新潟大学医歯学総合病院 感染管理部副部長(新潟大学・准教授))
- ② 秋野憲一 先生
(札幌市保健福祉局保健所 歯科保健担当課長)
- ③ 高野直久 先生
(公益社団法人東京都歯科医師会 理事)

歯科医療従事者のための
知っておきたい HIV 感染症の現状と対応

HIV 感染症に対する歯科診療の機会が増えることが予想されるが、医療従事者は、HIV/AIDS について、より正確な知識に基づいた診療を望まれ、今後さらにその知識を深め、対応をすることが必要となります。今回の講演では、最新の知識に基づいた講演を行っています。

日時 平成 26 年 11 月 30 日(日) 9 時～12 時(8 時 30 分 受付開始)

場所 新潟大学医歯学総合病院 病棟 12 階大会議室

講演 田邊 嘉也 先生
新潟大学医歯学総合病院 感染管理部副部長(新潟大学・准教授)

秋野 憲一 先生
札幌市保健福祉局保健所 歯科保健担当課長

高野 直久 先生
公益社団法人東京都歯科医師会

問合せ 新潟大学 医歯学総合病院 感染管理部 高木律男
E-mail: takagi@dent.niigata-u.ac.jp

主催 新潟大学 共催 新潟歯学会 後援 新潟県
(本講演は、日本歯科医師会生涯研修登録事業です。)

講演風景



アンケート結果

- ① 出席者36名
内訳: 歯科医師26名、歯科衛生士2名、看護師1名、学生・研修医6名、その他1名
- ② 歯科医師居住地: 市内15(20)名、中越4名、下越1名、上越1名
- ③ HIV感染者の受け入れについて(歯科医師21名+学生・研修医6名: 計27名が対象)
「はい」 1 条件付きで「はい」 12 「いいえ」4
記載率 17/27=63.0% 受入可能率 13/27=48.1%

受入条件として挙げられた意見

- 大学等での診察の実際を一度研修してみたい。
- スタッフの合意
- 受け入れる前に講習があると良い。
- 外科処置については依頼したい。
- コストがかかる
- マンパワー不足。現状では不可能。
- 診療所の滅菌の整備、スタッフ研修
- 風評被害が怖い
- 患者様への具体的な対応の仕方を教えていただければ、診療の内容によっては対応できる。
- 病院長やスタッフの同意。医療法人であり他の理事の意見を聞く必要がある。

その他の意見、感想

- 整備のための補助があると良い
- 研修会をスタッフ対象で広報していくと良い。
- 治療にかかる費用など具体的な話が聞けて参考になった。
- 配布資料があってわかりやすかった。
- スタンダードプレコシジョンの重要性がわかった。
- 行政の取り組みについては、普段なかなか聞く機会がないので参考になった。
- 口腔外吸引装置の有効性が理解できた。
- HIV/AIDSの患者の診療についてはまだまだ壁があると感じました。
- 医療従事者のみでなく国民が誤った知識でなく、正しい知識を持つ必要がある。

反省点 & 次年度の計画

- 12月1日の世界エイズデーに合わせて開催したが、新潟県でも同様の事業を実施しており、県庁からの参加をいただけなかった。
- 日曜日の朝早く、場所も新潟大学病院内でわかりにくいいため、時間、場所を工夫すべき。*
- 北関東甲信越地区への案内が不足していた。各歯科医師会、県庁への案内と、参加者(各件数名)の旅費を支給する形で、情報発信が必要。*
- スタッフ対象の講習会も開催。*
- 受け入れの可能性がある歯科医院に対して、個別講習(出張講習)も考慮する。

* 次年度予定